

各分団がチームワークを競う

平成19年度美郷町消防訓練大会



▲4人一組が連携して、素早く放水を行うポンプ操法

消防団員の気力、体力の練磨と消防技術の向上を図るため、7月1日、雁の里山本公園内で平成19年度美郷町消防訓練大会が行われました。

この日は、それぞれの地域で消防・防災活動を行う、町内14分団から340人の団員が参加。「小型ポンプ操法」「規律訓練」の2つの訓練が行われ、各分団とも指揮者の指示の下、規律正しい的確な動きで日ごろの練習の成果を遺憾なく発揮しました。

なお、小型ポンプ操法と規律訓練で第3位まで入賞した各団は、7月21日に開かれた大仙市仙北市美郷町支部消防訓練大会へ出場。第3分団が小型ポンプ操法で準優勝と健闘しましたが、惜しくも全県大会への出場権を逃しました。



▲指揮者の号令の下、グラウンド内を移動する規律訓練

- 【総合の部】
- 優勝 第3分団(千畑地区)
 - 準優勝 第14分団(仙南地区)
 - 第3位 第10分団(仙南地区)
- 【小型ポンプ操法の部】
- 優勝 第3分団(千畑地区)
(指揮者〓高橋誠、団員〓細井千代文、佐々木和寛、進藤義弘)
 - 準優勝 第14分団(仙南地区)
(指揮者〓小林予勝、団員〓高橋準、瀬田川誠、後藤和美)
 - 第3位 第10分団(仙南地区)
(指揮者〓久米春男、団員〓梅川浩孝、高橋功夫、大久保勝則)
- 【規律訓練の部】
- 優勝 第3分団(千畑地区)
 - 準優勝 第6分団(六郷地区)
 - 第3位 第14分団(仙南地区)

絵と音楽のコラボレーション

スペシャルマスター！！夢講座



永田さんが自身でイラストを手がけた絵本を読み語り、ストーリーに合わせて園城さんがフルートを演奏した(写真左から永田萌さん、園城三花さん)。



イラストレーターで絵本作家の永田萌さんとフルート奏者の園城三花さんをお招きして、町教育委員会主催の「スペシャルマスター夢講座」が7月12日、仙南公民館で開かれました。

この講座は、各分野の最前線で活躍している方々と直接交流することを通じて、子どもたちに夢に向かって努力することの素晴らしさを体感してもらおうと開かれたもので、当日は町内7小学校の5、6年生をはじめ町民の皆さん約450人が参加しました。

講師プロフィール

イラストレーター・絵本作家 **永田 萌さん**

「花と妖精」の世界をテーマにカラーインクを用いた創作活動を行い、1987年にポロニーヤ国際児童図書展グラフィック賞を受賞。絵本や画集など約130冊が出版されている。

フルート奏者 **園城 三花さん**

15歳でドイツに留学し、ミュンヘン音楽大学大学院を卒業。フルート奏者として国内外で幅広い活躍を行っている。



▲子どもたちの目の前で園城さんがフルート演奏を披露した。

永田さんが描いたイラストが会場のスクリーンに映し出される中、二人は自分の夢の実現に至るまでのエピソードなどを語り合い、「小さいときに出会うものは大切」「大人になっても信じる心や想像する心を大切にしてほしい」と子どもたちに語りかけました。

平成19年第5回町議会臨時会が7月11日に開かれました。今回の臨時会では、3件の工事請負契約の締結のほか、平成19年度美郷町一般会計補正予算第3号について審議が行われ、いずれも原案のとおり可決されました。

可決された議案

●六郷中学校大規模改修工事について

指名業者8社の競争入札の結果、はりま建設株式会社(美郷町土崎)と二億二千五十万円で工事請負契約を締結することが可決されました。

●大荒田・高田線道路改良工事について

指名業者7社の競争入札の結果、大和建設株式会社(美郷町六郷)と四千六百七十二万五千円で契約を締結することが可決されました。

●六郷東部地区簡易水道第1工区新設工事について

指名業者8社の競争入札の結果、大和建設株式会社(美郷町六郷)と五千五百二十二万五千円で契約締結することが可決されました。

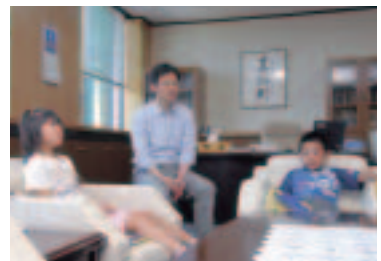
●平成19年度美郷町一般会計補正予算第3号について

美郷町社会福祉協議会が実施主体として行う空き店舗などを利用した福祉サービス拠点施設に係る補助金(二百万円)、トレーニングセンターろくごうの給湯設備更新に係る費用(二百八十八万八千円)について、歳入歳出それぞれ四百八十八万八千円を追加し、補正後の予算総額を百十億二千六百九十八万七千円としました。



▲3カ年の継続工事で教室棟などの改修が行われる六郷中学校

風



7月9日、社会科見学で町長室を訪れた金沢小学校の児童の質問に答える松田町長(写真中央)。

「君のハートよ位置につけ」

美郷町長 松田知己

普段あまり連続もののテレビ番組は見ませんが、最近ハマっているドラマがあります。旅館を舞台とした某局の朝の連続テレビ小説。主人公のひたむきさと謙虚さ、そして清々しさには本当に心が洗われますが、合わせて「おもてなしとは何か」を随所で考えさせられます。

こうした中、先般、これまた「おもてなしの心」の一端であろう所作しよさに触れ、感動を覚えることがありました。出張の際の飛行機での話です。

伊丹空港行きいだけの飛行機は小型で、空港到着後はゲートに直接接続できず、一旦バスに乗って空港ビルに向かう仕組みです。乗客全員が移ったところでバスは出発しましたが、その際、客室乗務員が深々とバスにお辞儀をしておりました。たまたま私が見える位置にいて、ふと見上げたら視界に入った光景ですが、目にしたのは確実に私だけでした。もし

かしたら誰も目にしなかったかも知れないお辞儀と思った時、客室乗務員の心の琴線に触れた思いがして、しばし心に潤いを感じました。

「おもてなしの心」を定義付けることは大変に難しいことですが、こういうことなんだろうと思います。見ているからする、見ていないからしないという損得勘定ではなく、相手の心を忖度そんたくしながら自分の気持ちを言葉や所作で伝えようとする心。結果、相手に心地よさが生まれれば、それが「おもてなし」ではないかと考えると、それが「おもてなし」では自分が疲れる背伸びはしない、自分という品位を大切に、押し付けにならないさり気なささりげなさに留意することなどが必要かも知れません。

さて、そうしたおもてなしの心で迎えた秋田わか杉国体が、いよいよ来月に迫りました。「君のハートよ位置につけ」は、秋田わか杉国体の合言葉ですが、応援をして下さる皆さん、競技運営や民泊でご協力をいただく皆さん、そして選手の皆さんそれぞれが記憶に残る国体となるよう、さあ、私たちのおもてなしの心も位置につけましょう。んん、とくに位置についている？こりゃまた失礼いたしました！

8月のふれあい談話室

8月16日(木) 役場千畑庁舎 1階応接室
午後5時から午後6時30分

問い合わせ

役場(六郷庁舎)町長公室 秘書広報班
☎0187(84)4900